

ひがし

No. 252

56 11/20

広報

しらかわ

人口の動き

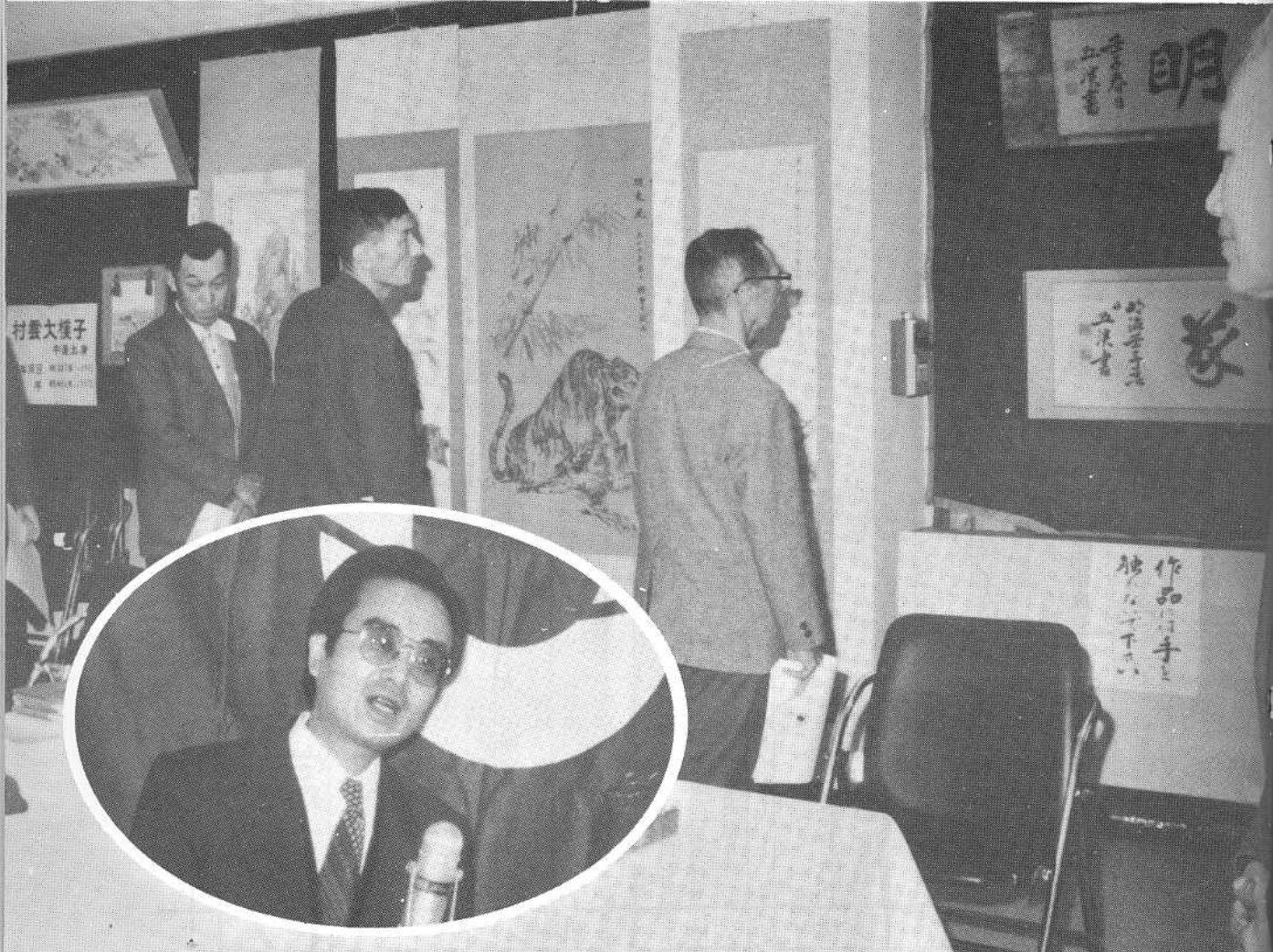
—10月末住民登録人口から

世帯数	939世
人口	3,734
転入	0
転出	4
出生	6
死亡	0
先月と比較して2人増	
昨年と同月と比較して33人増	

■ 発行 岐阜県加茂郡東白川村

■ 編集 / 総務課

■ 印刷 / 関市中野



文化の月
盛大に

11月を「文化の月」として、村ではいろいろな行事が行われました。1日から5日まで郷土出身作家の「遺作5人展」と「小・中学校美術展」「村美術展」が村民センターで行われたのを皮切りに、8日には12回目を迎えた「文化講演会」が将棋の内藤国雄九段を講師に、中学校体育館で行われました。このほか「第5回村民駅伝大会」や「第12回村民親ほく卓球大会」などのスポーツ行事も行われ、各行事とも大勢の参加者で盛り上がりを見せました。

写真は、村内外から約400人が訪れ、好評だった郷土出身作家遺作5人展。円内は内藤国雄さんを迎えての文化講演会。

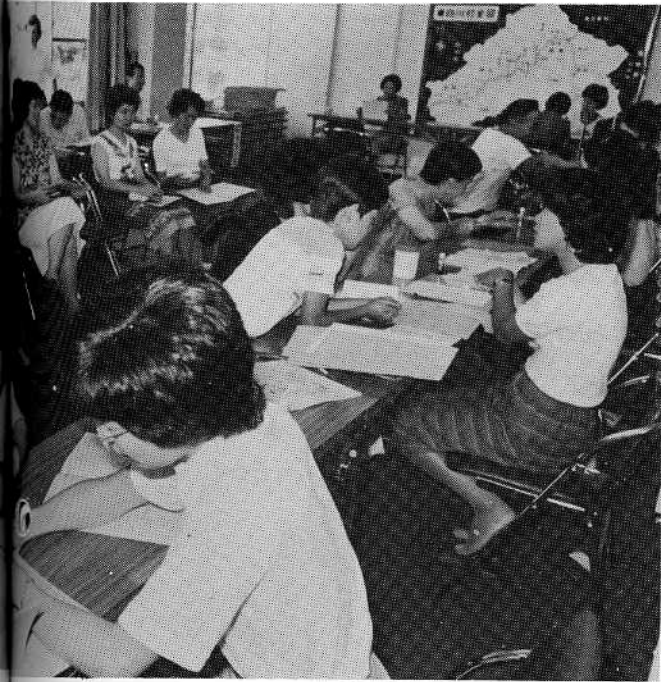
おもな内容

- 成人病予防検診の結果 P 2~
- 交通死亡事故「ゼロ」
2,000日を達成 P 2
- 公民館図書館の利用状況 P 6~
- 食改協の歩みを発表 P 6
- 狩猟解禁 P 6
- 10回目の農林大臣賞獲得 P 6
- こたしのスポーツ活動 P 8
- けいじ板は P 8・9 の下欄

受診率は七割を突破 93・5%がこじこじも異常なし



村の保健事業の中で目玉的な存在である成人病予防検診が、こじこじも八月六日から十三日にかけて、村内十三会場で行われました。四年ぶりに行われた該当者全員を対象とする血液検査も手伝って、ここ数年伸び悩んでいた受診率が大きく上昇したほか、受診者の九三・五%が健康を確認——という結果が、このほどまとまりました。



血液検査実施が 受診率に影響?

本村の成人病予防検診該当者は、前年度の予防・精密・管理検診の結果異常のなかった人、満三十歳になった人、転入した満三十歳以上の人たちです。予防検診の前に管理台帳などをもとに調べたことしの該当者は千七百九十四人。このうち職場などで受診済みの人や治療している人、ねたきりの人などが九十八人あり、実際の対象者は千六百九十六人でした。一方、受診者は千二百八人あ

りましたが、治療中で受けた人が十六人あり、実受診者は千九十二人。受診率は七〇・三%（対前年度比一二・八%増）と大きく伸びました。ちなみにこの値は、昭和五十年の六六・五%を抜いて最高となりました。受診率が伸びた理由はいろいろ考えられますが▽健康への認識が高まった▽全員を対象に血液検査を行った▽実対象者把握のため調査を実施した——などがそのおもなものといえます。

治療者の実態把握が今後の課題

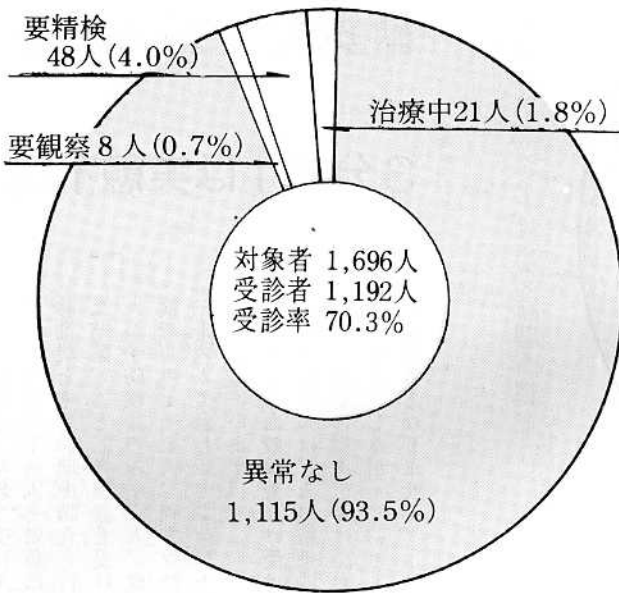
受診者の結果はグラフィのとおりです。九三・五%にあたる千百十五人が異常なしの判定を受け健康を確認したほか、要観察（経過を観察する必要がある）が八人で〇・七%（対前年度比〇・六%増）、要精検（精密検査が必要）が四十八人で四・〇%（同〇・二%増）、治療中が二十一人で一・八%（同〇・四

%増）となっています。受診率が大幅な伸びを示した反面、要精検、要観察の人の伸びはわずかとなっており、この結果からもみなさんの健康に対する努力と認識が深まっていると解釈することができます。

一方、治療中ながら検診を受けた人が一・八%ありましたが、理由には▽昨年度の検診結果異常なかった人が、この一年の間に症状が悪化した▽ことし検診対象となった人（満三十歳になった人、満三十歳以上で他町村から転入した人、過去三年以上未受診で、ことし受診した人）のうち、すでに治療中の人がいる——の二点が考えられます。

本村の成人病予防事業の中でとくに問題点としてあげられるものがあるとすれば、こうした人たちの実態把握とその指導の方法ということがあげられます。健康に対する認識が高まり、受診率も定着している状況下で今後こうした問題点にどう対処するかが注目されるところです。

グラフⅠ 予防検診受診者の内訳



グラフⅡは男女別、年代別の受診率を前の年と比較してみたものです。これによると、男性の受診率は年齢が高くなるにつれて上昇し、七十歳代では女性

グンと伸びた
男子四十歳代

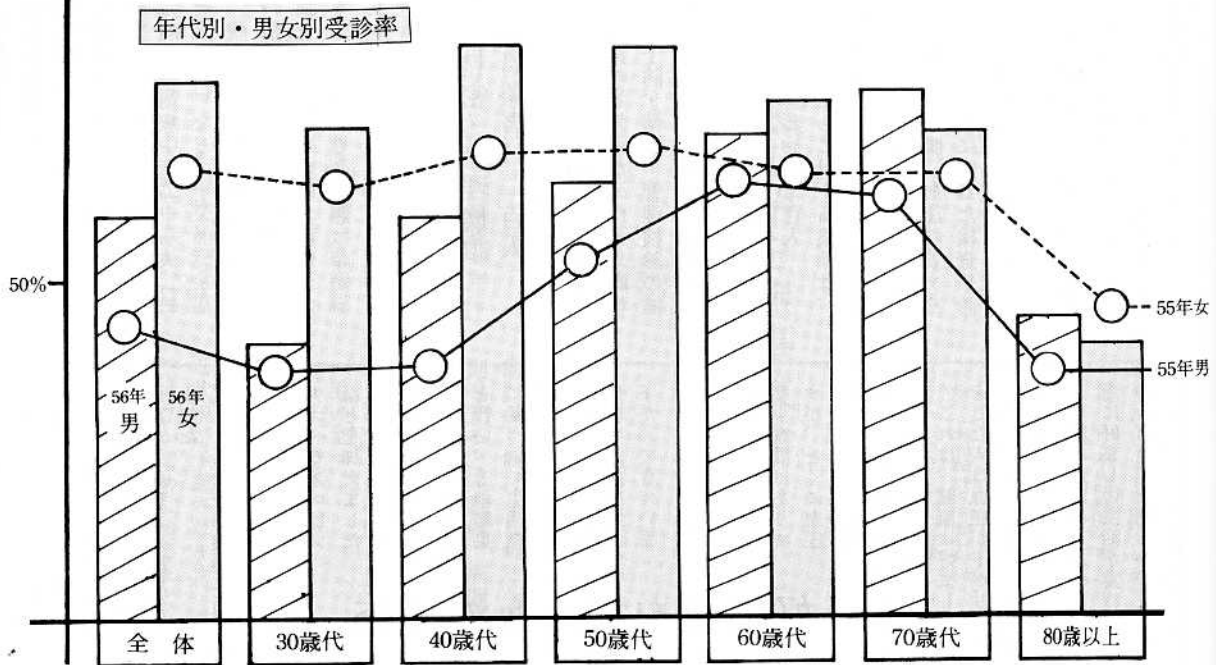
を上回っています。昨年と比べて全体的に伸びを示していますが、とくに昨年は一番低かった四十歳代の人々がグンと伸びているのが目立ちます。女性の場合は全体的に伸びているのは、昨年とほぼ同じ傾向です。

ことしの成人病予防検診風景

村民センターで



グラフⅡ



貧血検査の結果を異常なしと要精検に区分するには全体の平均値を基準としますが、ことしの結果のほうが男女ともに上回っており、当然判定のための基準値は高かったわけですが、にもかかわらず今回の要精検率が低かったことは、予防検診受診率の大幅アップとともに、今年度結果をふり返って特筆できるところで

す。貧血検査の結果を異常なしと要精検に区分するには全体の平均値を基準としますが、ことしの結果のほうが男女ともに上回っており、当然判定のための基準値は高かったわけですが、にもかかわらず今回の要精検率が低かったことは、予防検診受診率の大幅アップとともに、今年度結果をふり返って特筆できるところで

す。貧血検査の結果を異常なしと要精検に区分するには全体の平均値を基準としますが、ことしの結果のほうが男女ともに上回っており、当然判定のための基準値は高かったわけですが、にもかかわらず今回の要精検率が低かったことは、予防検診受診率の大幅アップとともに、今年度結果をふり返って特筆できるところで

す。貧血検査の結果を異常なしと要精検に区分するには全体の平均値を基準としますが、ことしの結果のほうが男女ともに上回っており、当然判定のための基準値は高かったわけですが、にもかかわらず今回の要精検率が低かったことは、予防検診受診率の大幅アップとともに、今年度結果をふり返って特筆できるところで

貧血検査の結果

平均値アップ
再検査者は1.5%

予防検診の前に、四年ぶりに大がかりな血液検査を行った結果、採血者は千三百四十三人でした。

ことしは前回(昭和五十二年)と比べ、多くの検査項目を盛り込みましたが、両方に共通する貧血検査を比較してみますと、ことしの要精検者は男性七人、女性十三人の合わせて二十人で全体の一・五%でした。

前回は男女合わせて三十七人で、採血者千三十八人に対する割合は三・六%でした。

交通死亡事故「ゼロ」

二千日を達成

県下十番目の好記録

全国的に交通死亡事故が増えている中で、本村では昭和五十一年五月、大沢地内で起きた交通死亡事故以来今日まで「ゼロ」行進を続けています。

去る十一月七日には、二千日

この日現在の県下の状況をみてみますと、恵那郡の川上村がトップで五千四百二十四日、次いで山県郡伊治良村（三千四百日）、揖斐郡坂内村（三千七百日）、大野郡高根村（二千九百七十八日）、武儀郡上之保村（二千六



百十一日)、恵那郡明智町(二千四百三十五日)、揖斐郡谷汲村(三千百三十九日)、武儀郡武芸川町(二千百七日)、加茂郡七宗町(二千二十日)の順で、本村は第十位にランクされたことになりました。

交通量が少なく、死亡事故の起きる確立は少ないとはいえ、最近では自家用車の台数が多く

年末年始を無事故で

凍結路でのスリップにも注意を

恒例の年末年始交通事故防止運動が、十二月十五日から来春一月十五日までの一か月間展開されます。

スローガンは「無事故で年末笑顔で年始」。年末年始のあわただしさや、交通量の増加、正月気分の解放感などから事故の多発が予想されるため、県民総ぐるみで交通事故防止の徹底を図ろう—というものです。

とくにこの時期は忘年会や新年会など、酒の席が多くなりますが、ドライバーは「乗るなら飲むな 飲むなら乗るな」の鉄則を守ると同時に、周囲の人たちも「飲んだ人には車を運転させない 乗る人には酒をすすめない」などの心配りをしてほしいものです。

期間中は、村の交通安全補導員や交通ママさん、交通安全協会役員ら多くのみなさんが、村内各所で街頭補導やシートベルト着用推進運動を行うことになっています。ほかに、飲酒運転の特別取り締りも行われることになっています。

また、冬季は朝夕の冷え込みが厳しく、道路の凍結や、降雪などにより、スリップなど危険な状況が予想されます。スピードはひかえめにするとともに、万一に備えてシートベルトやヘルメットを着用する習慣を身につけ、安全運転に心がけてください。

融雪剤は有効利用を

冬になるとテレビやラジオで「寒波」という言葉をよく耳にします。日本海北部や北海道方面に低気圧が発達するとき、大陸から冷たいシベリア寒気団が波のようにやってくる現象を寒波といっています。

寒波に襲われると、わずかに日ぐらいで気温が摂氏五度から十度も急降下することがあり、明け方には日本中の温度計が氷点下に沈んでしまいます。

とくに、本村のように標高が高い山間部は、降雪に見舞われる確立が高いうえ、道路の凍結など、交通上危険な状態が続きます。

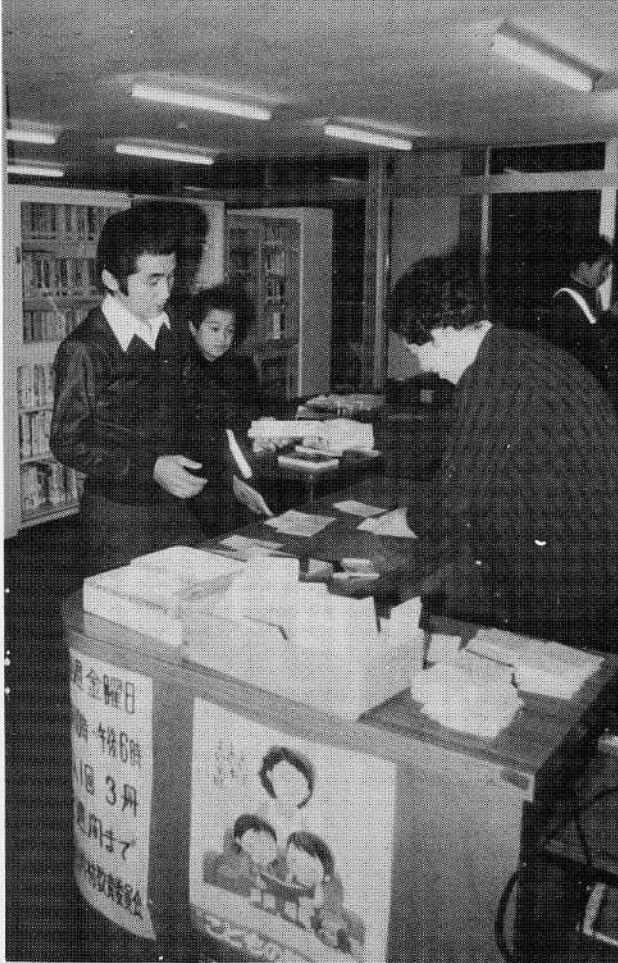
こんなとき、威力を発揮するのが融雪剤です。

融雪剤はことしも各組へ、過去の状況に基づいて配布します。置き場所は各組長さんに連絡しておきますので、必要の際は組長さんにご連絡のうえ、有効に使ってください。

融雪剤の配布割合はその地区の状況に応じて—とはいえず、予算に限りがあります。原則として交通量の多い村道にご利用ください。

公民館図書
の利用状況

2年で14,147冊に 多い女性利用者



週1回の図書の貸し出し風景
—村民センター4階中央公民館図書室で

昭和五十四年の十一月十六日オープンした、村民センター四階の公民館図書室は満二年を迎えました。当初約千冊でスタートしましたが、その後購入したものとやみなさんから寄付していただいた本など合わせて、今では二千三百八十六冊になっています。この十月三十日の開室で百回を迎え、開室以来の利用状況がまとまりました。

2年で100回開室 平均72人の利用者

週一回本の貸し出しを行う図書室の開室は百回を迎え、貸し出した本の延べ冊数は一万四千百四十七冊。一回平均の貸し出し冊数は百四十一冊ということになります。

この間の利用人数は延べ七千二百四人。一回平均で七十二人となります。

最近の傾向をみると家族ぐるみで読書をするという家庭が多

くなり、親子で、夫婦で、さらにはこどもからお年寄りまで幅広い年齢層での読書愛好者がめだつてきています。

遠距離からも 家族ぐるみで

表Iは二年間に家族ぐるみの読書を実行された家庭を、その利用冊数の多い順に十位まで選び出したものです。中には、「私の読書好きの影響で家族みんなが本を読むようになった。こともまだがすすんで読書するようになり、図書室のおかげです」と話された人もありました。

家族別利用者の中で一位となった平の田口さん一家は、五人家族で、利用回数は延べ百七十回。その利用冊数は四百二十三冊となり、一人平均で八十四冊余りとなっています。

本のページ数の差はまちまちですが、八・六日に一冊ずつというペースで読まれた計算になり、その読書熱に驚くばかりです。

表Iにランクされた家庭は比較的図書室に近い地区に集中していますが、下野の安江力男さんの家庭では、みんなそろって図書室へ出かけられ、それぞれ気に入った本を借りられるようです。遠距離でありながらも、

読書家族別順位

(利用冊数の多い順)

表I

順位	氏名	地区名	利用回数	利用冊数	構成人数	1人平均冊数
1	田口みね子	平	170	422	5	84.5
2	藤井 たゑ	加舎尾	147	310	4	77.5
3	安江 力男	下野	18.2	278	5	55.6
4	田口 豊子	中谷	105	277	3	92.3
5	中山 礼子	平	118	248	3	82.6
6	安江 重里	"	101	221	3	73.6
7	小池 君江	"	71	189	2	94.5
8	栗本 房子	"	78	185	3	61.6
9	伊藤ますみ	"	67	170	3	56.6
10	村瀬いつえ	"	95	161	3	53.6

利用者
は
村内全域に

多く利用していただいていることは注目されるところです。

表IIは、一般男女、中学生、小学生に分けて利用冊数の多い順に選り出したものです。

一般では女子の利用者が圧倒的に多く、百回の開室のうち七十回以上利用したという人が二

人ありました。男子の利用で一番多い人が、全体的にみた順位の十七番ということからも女性利用者の多いことが裏付けされます。

地区別にみてみますと、身近なところで借りることができるところからか、全体では平地区に集中しているようですが、小学生を除いてみると、村内全域で利用されているようです。

図書室開室が
文化性向上に一役

今回の集計は、公民館図書室の利用についての掲載しましたが、村内には県立ひばり号の巡回図書利用者も約二百人ありますし、個々に購入して読んでおられる人もたくさんあると予想できます。

いずれにしても、公民館図書室ができたことにより延べ七千二百四人の人に一万四千冊を超える利用をいただいた実績は、村の文化性を高める意味で大きな役割を果たしているといえます。

表II

個人別順位

一般	女子	一般男子	中学生	小学生
順位	氏名	住所	利用回数	利用冊数
1	田口みね子	平	74	190
2	安江 節子	"	71	165
3	藤井 たゑ	加舎尾	61	148
4	井戸 和世	久須見	51	134
5	安江 重里	平	50	130
6	安江由美子	下親田	46	126
7	田口 りゑ	中谷	44	124
8	安江 英代	上親田	57	116
1	安江 力男	下野	58	97
2	藤井 茂樹	加舎尾	41	87
1	今井かおり	大口	47	105
2	瀬戸垣 静	曲坂	47	96
3	安江 則子	陰地	43	87
4	村雲 直己	西洞	45	86
5	菊田 克子	曲坂	41	79
1	中山美保子	平	58	141
2	古田 容子	"	49	122
3	田口理佐子	"	39	112
4	田口 まき	中谷	40	110
5	安江 里子	平	58	60

活用して!!
事典や専門書

公民館図書室は二年間で多くの人に多くの利用をしていただいているという状況が、数字の

上ではつきりしました。とはいえその九割は本の借出しという内容です。

図書室や図書館には、そうした利用のほか、家庭、学校、職場、趣味などで生じたわからないことを、備え付けの百科事典などを利用して調べるといった活用方法もあります。

村の中央公民館図書室には、事典や専門書が約二百五十冊備えられており、みなさんご利用を待っています。これらは借出しはできませんが、週一回の開室日には閲覧することができ、今後はそうした活用も積極的に進めてほしいものです。

うです。

読書は、余暇活動の中で一番てっとりばやいものとして根強い人気をもっていますが、文字ばなれ、活字ばなれが叫ばれる今日、そうしたことを補う意味でも重要なことといえます。

今後は蔵書数を増やすとともに、男性の利用者が多くなるよう働きかけも必要となります。

食改協の歩みを発表

食生活推進員中央研修会で

第15回全国栄養教室修了者（食生活改善推進員）団体リーダー中央研修会が、10月7、8日の両日岐阜市で開催され、本村の食生活改善推進協議会の今井典子会長が県代表として「東白川村食生活改善推進活動の成果と今後の課題」と題した発表をされました。ここでそのおもな内容を紹介してみましよう。



岐阜市で開かれた食生活推進員中央研修会で、意見発表する今井典子会長

近年、社会環境の変化は著しく、食生活のもたらす影響は大きくなっています。これが成人病を招く要因となり、私たちの生活をおびやかす、年々増加傾向を示しています。それを予防するには、一家の主婦が家族の健康管理の重要性を十分に認識することが必要だと考えます。東白川村では、昭和四十三年健康で明るい村づくりの一つとして、保健所の協力のもとに栄養教室が開かれました。四十六年には、この教室を修了した人のうち二十五人が発起人となって栄養改善推進協議会を結成しました。

四十九年には、成人病予防推進員の委嘱も受け、村が行う成人病検診などにも従事するようになりました。

翌五十年に、名称を食生活改善推進協議会と改め、成人病予防事業と連携を取りながらボランティアの精神に徹し「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに実践活動を続けています。

私たちの実践目標は▽食塩はひかえめに▽緑黄色野菜を毎日食べよう▽麦ごはんを食べようの三項目。研修会や伝達講習でそのけいもう活動を行ってきました。

当初は調理施設の不備などもあって思うような活動ができませんでしたが、村民センターの建設によって実践活動も軌道に乗り、効率のよい活動ができるようになりました。

食生活に関するアンケートによると、乳製品、緑黄色野菜のとり方が基準より少なく、塩分はとり過ぎの世帯が多いという結果がでました。このため、その対策として乳製品の共同購入や緑黄色野菜苗の世話などを行い、また、みそ作りの普及を進め勉強会や見学などを継続した結果、私たちの活動にも光がみえてきました。

血圧の変化や貧血検査でも良い結果が得られ、十二年間の地道な実践活動にやっと自信がつかれました。

食生活の洋風化は、栄養過剰による肥満、若年層の高血圧問題など多くの問題をかかえています。が、栄養士さんや保健婦さんの指導のもと「自分の健康は自分で守る」という意識を高め、人生最大の幸福は「健康」であると強く呼びかけ、食生活を中心とした保健活動に全力を注ぎ、会員二百六十八人が互いに手を取り合って、明るく健康な村づくりに努めようと誓いを新たにしているこのごろです。

■善意の寄付—敬称略

『交通安全対策費へ』
現金二万二千円—大坪花久美（平）

『公民館図書室へ』
図書三冊—田口博（陰地）、
同二十三冊—安江恒一（名古屋市）、同二冊—越原公明（名

松岡 孝（陰地）
三尾厚子（大明神）

いつまでも
おしあわせに



（平）今井 明雄
裕子 太白
（柏本）古田 節也 竜也
（陰地）今井 清彦 博道
みどり
（宮代）島倉 豊幸 一浩
美登里
（平）今井 克次 一平
知子 長男
（陰地）今井 武司 拓海
喜代美 三男



誕生おめでとう
ございます

■戸籍の窓（十月）—敬称略

狩猟解禁

11月15日

ルールを守って楽しい猟期を

ハンターにとって待ち遠しかった狩猟が、十一月十五日に解禁となりました。前の晩から現場へ行って待機するもようがよくテレビなどで紹介されます。狩猟シーズンに入っている間は、心ないハンターによる公道上等で狩猟禁止場所での発砲や、山野でのカスミ綱を使つての禁鳥の捕獲などが相変わらず後を絶ちません。

これらで検挙されれば、すべて使用した銃砲や狩猟免許、猟具、獲物などいっさいが押収されたり、許可の取り消しになります。そればかりか、自然破壊や人身を傷つける事故にもつながるといふことを忘れないようにしましょう。

取り扱いマナー守って

▽猟場以外では必ず銃に布袋をかぶせるか、ケースに入れて運ぶ▽銃は発砲するとき以外は弾を込めない▽銃を手にしたときまたは手から離すときは、必ず弾の有無を確かめる▽発射の直前まで、銃には安全装置をかけておく▽安全装置は過度に信用せず、発射するとき以外は引き金を手をふれない▽人の居るようなところ、道路上や人家付近、夜間などには、たとえ獲物を見つけても発砲しない▽発射するときは、筒先を十分確かめ、弾がはね返るようなものに向けない。など、銃の取り扱いマナーを守ってください。

■銃の保管は厳重に

最近では、盗まれた猟銃などによる強盗や犯罪が新聞紙上などににぎわっています。ちょっとした油断が、こういった事件につながることもあります。

銃の保管にはくれぐれも気を配り、十分注意してください。

■守ろうルール

狩猟は年齢満二十歳以上で、各県で決められている甲、乙、丙種の免許を受けなければなりません。また、カスミ綱での捕獲にも厳しい取り締まりが行われます。ルールは必ず守り楽しい狩猟シーズンをおくってください。

■有線ケーブルにご注意を

村内をくまなく結んでいる有線電話ケーブルの破損事故も最近多くなっています。

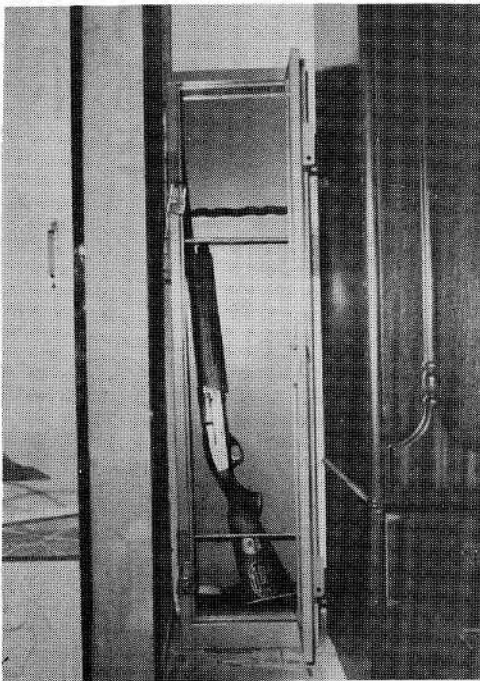
ケープルには、数十本もの細かい線がビニールの皮膜によって保護されていますが、その中へ散弾が入ると混線や通話不能などの障害が起こります。

とくにこれらの事故は、そのほとんどが数か月、また何年か経って障害として発見されるため、位置の確認などにも手間どる多くの加入者に迷惑をかける

のです。

また、故障箇所が発見できず接点間を全部取り替えなければなりません。このため多くの経費と労力を要します。

ケープルの近くでは絶対に発砲しないこと、そして村の人たちみんなが監視役として、そうした行為を見かけられたら早めに有線本部へご連絡ください。



銃は施設できるロッカーなどに保管を

古屋市、同二冊―丸井美代(二宮市)、同八冊―今井ももえ(大口)、同五冊―菊田りよ(曲坂)、同三冊―安江節子(平)、同一冊―栗本房子(平)

■表彰―敬称略

『中学校』

○木の国ボスターコンクール
▽入選―安江七美(三年)▽佳作―古田万美(三年)、菊田かのえ(二年)、菊田英俊(一年)

○岐阜県科学作品展▽入選―永を使わない瞬間冷却剤の研究(安江利光・田口寛久・田口浩由・榊間治也)、炭酸飲料は歯をおかすか(中山恵・村瀬真弓・藤井亜弓)

■人権相談所

開設のお知らせ

次のとおり人権相談所が開設されます。財産上のもめごとや、日常生活の上で困っていること、そのほか、婚姻、相続、土地境界、金銭の貸借などの問題で困ったことのあるかたは、お気軽にご相談ください。

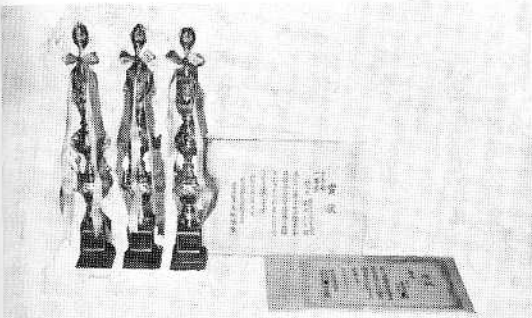
・とき 十二月四日
十時～三時
・ところ 村民センター三階
経営相談室

10回目の農林大臣賞獲得

目だつ茶加工技術の高さ

昭和五十六年度の岐阜県茶業振興大会が、去る十月二十一日に揖斐川町で開かれました。大会席上、茶総合品評会入賞者の表彰があり、本村が農林大臣賞（二等一席）を受けました。

この品評会は、昭和四十五年以来毎年開かれていたもので、ことしが十二回目。本村は過去に九回農林大臣賞を受けた実績



があり、今回で十回の受賞を果たしたことになり、本村の茶加工技術レベルの高さが目だっています。

ことしの成績は別表のとおりで、農林大臣賞を受けた越原製茶組合、微差で東海農政局長賞となった黒瀨茶生産組合など、十六点の出品のうち九点が一等に入賞するという輝かしい成績をおさめました。

また、二十、二十一日の両日同町で開かれた第三十四回関西茶業振興大会でも、越原製茶組合、黒瀨茶生産組合が肩を並べて一等二席に入賞したのをはじ

県茶品評会と関西茶品評会で本村が獲得した賞状とトロフィー

め、あわせて九点が一等に入賞しました。

村のお茶づくり 来年の好転に期待

ことしの本村茶業は、昨年の冷夏と長雨の影響が心配されていましたが、白川町共販所における本村の総販売量は七十六・八五六ト（対前年度比一七%減）総販売金額は二億一千二百万円（同一四%減）となっており、茶業農家のみなさんのたゆまぬ努力によって最小限の被害でくい止めることができました。

とはいっても、昭和五十四年をピークに二年連続して量、金額ともに下降しているため、来年の好転に期待がかけられます。

良質茶生産に一役 中通の加工、研修施設

本年度に完成した高品質茶加工施設（中通）は、省力化によって全自動化した村内の茶加工

施設では、各工程上の細かな研究ができないため、品質向上のための研究や研修を行おうと建設されたものです。

本村は、遅場地帯という不利な条件を持つているために、白川町などの他町村に比べ、平均単価の安くなったところに出荷量が集中します。

このため、本村茶業を安定かつ特徴づけるには徹底した良質茶の生産が必要と、茶業振興が行われてきました。このこ

とは今さらいうまでもなく、過去の茶品評会での実績からもその努力の跡がうかがわれます。

しかし、良質茶の生産もある程度の域に達しているとはいえず、さらに研究を重ねてより良質な茶を生産する技術面の向上を図らなければならぬ時代がやってきています。

高度成長時

昭和56年度 茶品評会成績

出品者	岐阜県茶総合品評会		関西茶品評会	
	等	順位	等	順位
越原製茶組合	1	1	1	2
黒瀨茶生産組合	1	1	1	2
田口謙男	1	4	1	7
村雲康平	1	4	1	7
神土茶生産組合	1	6	1	9
東白川村茶業振興会	1	11	1	16
五加茶生産組合	1	14	1	19
東白川村茶業振興会	1	15	1	20
神土茶生産組合	1	16	1	21

代に伴って省力化があらゆる面でとり入れられ、茶加工施設も例外になく自動化による省力化が進みました。が自動ゆえにその盲点となる新たな問題が生まれたといってもよいでしょう。

そうした意味で、この施設がより高品質な茶を生み出す研究、研修の拠点として活用され、本村茶業がより安定したものになることに期待がかけられます。

ことしのスポーツ活動

安定とゆとりを目標に

定着した1種目継続の姿勢

ことしのスポーツシーズンも幕を閉じようとしています。年々スポーツが盛んになってきましたが、本村のことしのスポーツは「安定したゆとりのある活動」を目標に、新しい行事よりもこれまで行ってきた種目を、さらに充実したものにすることを重点に置いて展開されました。

以前は一人でいくつもの種目に参加する「一」という例も少なくありませんでしたが、最近では自分に最も適したスポーツを継続するという姿勢が定着してきています。ここで、各種スポーツ団体の行事や秋に行われたいろいろな大会結果を紹介してみましょう。

陰地上に栄冠

越原壮年ソフトリーグ戦

体力づくりと親ほくを目標に一昨年から始められたのが、越原地区壮年ソフトボールリーグ戦です。

ことしは五チーム（七十人）が参加。五月から十月にかけて越原運動場でナイター六十試合が行われ、和気あいあいとしたふんい気の中で熱戦が繰り広げられ、陰地上チームが優勝を果しました。

結果は次のとおり。
①陰地上②大明神③日向

七チームが熱戦

神土壮年ソフトリーグ戦

第二回を迎えた神土地区壮年

十月二十五日に行われた、第五回婦人ソフトボール大会のもよう

—総合運動場で

ソフトボールリーグ戦は、五月から十月の日曜日の夜間を中心に行われ、七チームが参加。二十一試合を消化しました。

結果は次のとおり。
①平東②平ウエスタンズ③平ブライムズ

地域ぐるみで楽しく

五加地区ソフトリーグ戦

五加地区では、壮年だけでなく、青年や一般の人たちも含めた地域ぐるみのソフトボールリーグ戦を展開しました。参加したのは五チームで、十月中に十試合を行いました。各試合とも若い人たちが多く、楽しく活発なゲーム運びとなったようです。

結果は次のとおり。

①宮代・下野・久須見B②柏本上③柏本下

ブームの中で開催

第一回テニス大会

全国的なテニスブームの中で本村でも例外になく最近愛好者が増えています。こうした中で、第一回村民テニス大会が、村体育協会テニス部主催のもと、十月十八日に総合運動場テニスコートで開かれました。

大会には約三十人の選手が参加し、一般男子、中学生女子、経験者の部でそれぞれ熱のこもった試合を展開していました。

当日の結果は次のとおり。

（敬称略）

『一般男子の部』①樋口孝祐・伊藤保夫組②菊田正敏・安江利己組③熊沢政逸・桂川政利組
『中学生女子の部』①安江まなみ・早瀬紀代子組②菊田かのえ・安江純子組③早瀬美智子・安江智子組

『経験者の部』①田口宗雄・日下部金正組

手軽さに人気

バドミントン大会

手軽なスポーツとして人気のあるバドミントン。今回は村教育委員会が行ったバドミントン教室のまとめとして、十月二十九日に本村初の大会を行いました。結果は次のとおり。

（敬称略）

①小池謙多郎・安江千恵子組②安江浩・安江吉信組③安江雅信・安江園美組、田口宗雄・安江佐和子組

体力テストとあわせて 婦人ソフト大会

第五回婦人ソフトボール大会は、九月から行われた婦人ソフトボール教室のまとめという形で、十月二十五日に十チームが参加して行われました。また、当日は体力テストもあわせて行われました。結果は次のとおり。

①陰地上②大明神③陰地下

冬こそスポーツを

冬の訪れとともに、気温は下がりがり、コタツやストーブなど暖房が恋しくなります。このため私たちはとくく家の中に閉じこもりがちです。こんなときこそ、適度な運動をし快い汗をかき、健康で冬を乗り切る上で大切なことではないでしょうか。

教育委員会では、夜間を利用しての軽スポーツ教室を計画しています。指導には村の体育指導委員と体育推進員があたり、期間は十一月末から来春二月末まで、五回開催する予定です。あなたもぜひ参加してみたいかがでしょうか。ただし、冬期スポーツをする上で▽準備運動を念入りに▽運動量はいつもの八〇%くらいに▽汗をかけたから早めに着替える——などは守り、風邪をひいたり、ケガをしたりしないようご注意を。

郵便局だより



年賀状は包はお早めに

十二月になると小包や年賀状など大量の郵便物が出回り、郵便局はたいへん忙しくなります。郵便をご利用の際は、とくに次の点にご協力をお願いします。

小包は12月15日までに

十二月にはお歳暮を中心として、ふだんの約二倍もの小包が出されます。十二月半ばを過ぎても重なると年賀状の処理とすることがあります。早めに準備して遅くとも十五日までに出してください。

また、包装を十分したつもりでも、運送中にくずれ、中身が抜け落ちたり、ビン類などは破損して液体がしみ出ることがあります。包装するときは段ボール箱やじょうぶな包装紙を使いしっかりと包み、ひもを十文字にかけてください。

年賀状は12月20日までに

年に一度の心のふれあいは年

賀状で——と、新年を祝つて賀状を交換する風習は最近いっそう盛んになっています。しかしあわただしい年末の年賀状書きはともすれば遅れがちです。家族そろって土、日曜日を利用して書く日を決めるなど、みんな楽しんで早めに書いて元旦には先方へ届くよう、遅くとも二十日までにお願いします。

郵便番号は正しく

郵便局では大量の年賀状や小包を扱うため、設備を拡充するほか、たくさんのアルバイトを採用しますが、この期間にとくに威力を発揮するのが郵便番号です。

郵便番号が正しくはっきり書いてあれば、郵便番号自動読取区分機をフル回転してスピーディに区分けすることができます。かりでなく、不慣れたアルバイトでも能率的に区分けできます。郵便番号は正しくはっきりと、また、あなたの住所の郵便番号

も忘れずに書いてください。

あて名は詳しく正確に

あて名が詳しく正確に書かれていないため、あらゆる方法を講じて調査しても配達できない年賀状が毎年たくさんあります。こうした年賀状をなくすため、あて名は丁目、番地まで詳しく正確に書いてください。

とくに団地やアパートにお住まいの方へは「〇〇団地〇棟〇号」「〇〇荘〇号室」同居や下宿している方へは「〇〇様方」のように最後まで省略しないで詳しく書いてください。

方面別に区分けも

年賀状をお出しになるときは、村内あて、県内あて、県外あてなど郵便局でお願いしている方法で、あらかじめ区分けし、その旨を書いた付せん（郵便局に専用のチラシを備えています）を付けて束ねてお出しください。また、お年玉つき年賀はがき以外のはがきで年賀状をお出しになる場合は、表面の見やすいところに「年賀」と朱書きしてください。「年賀」の表示がないと一般のはがきとして年内に配達されることがあります。

あて名はくわしく
はっきりと？



Chihumi

じゅうたんの色の選び方

最近では、和室にもじゅうたんに敷きつめて、洋間ふうにする家庭も多いようですが、色の選び方一つで、部屋の感じはガラッと変わります。

好きな色だといって選んでも、それが家具や壁面、カーテンなどと調和しないと、無秩序で落ちつかない感じを与えることになりま。全体との調和を念頭に置いて選びましょう。

一番無難なのは中間色で、洋間ならベージュ系を選べばまず間違いありません。ただベージュといってもさまざまで、色の濃淡によりずいぶん異なった感じになりますからなるべく数多くみることで無地は柄ものより部屋を広くみせます。小さな部屋は淡色の無地を中心に考え、どうしても柄ものがほしければできるだけ小柄のものを……。

汚れやすいこども部屋は、比較的汚れが目につきにくいミックス調のものもよいでしょう。和室には淡緑や茶系統がなじみやすく、玄関など家具の少ない場所は柄ものがアクセントの役割を果たします。

季節の話題

季節の話題

目標額は80万円

「歳末たすけあい運動」 にご協力ください

恒例の「歳末たすけあい運動」が、十二月一日から一か月間全国的に行われます。

この運動は「やさしさを隣人に……」をスローガンに、十月から十二月にかけて行われている赤い羽根共同募金運動の一つとして繰り広げられるものです。私たちの身近かにもいろいろの人が住んでいます。なにに不自

由のない生活をしていたのに、ある日突然けがをして手足が不自由になった人、病気でねたきりのお年寄りなど、さまざまな人がさまざまな暮らしをしておられます。

このような人たちが、少しでも幸せな生活ができるよう、みんな協力して明るく住みよい社会を作って行こう——とすす



めているのが共同募金運動です。村では毎年、この運動が積極的に推進され、予想を上回る募金をお寄せいただいております。住みよい地域づくりの大きな原動力となっております。

募金方法は、例年のように組長さんを通じてご協力を願うのと、役場窓口で受け付けることになっていますが、職場や団体などのご協力もよろしくお願い致します。

ことしの募金目標額は八十万円。だれでも身近なところで温かい援助の手をさしのべることができるとこの運動に、よりいっそうのご協力を。

昭和56年 工業統計調査 工業実態基本調査 にご協力を

製造業の皆さん、通商産業省では昭和56年12月31日現在で、昭和56年工業統計調査を実施します。

この調査は、製造業（製材所や木工所など）を営む事業所を対象として、製造品の出荷額、原材料使用額、有形固定資産額などを調査し、工業の実態を明らかにすることを目的としています。

この統計調査の結果は、例えば都市開発や下水道整備計画の立案に利用されたり、また、みなさんが各種製品の生産、販売計画をたてる場合の参考にもなるなど、生活と深い関係があります。

また、本年は工業実態基本調査が行われます。この調査は企業の実際の姿について正しい資料を集めることを目的としたものであり、中小企業の経営の安定を図り、国の経済を健全に発展させるために、ぜひとも必要なものです。

調査をお願いする製造事業所には、年末年始にかけて調査員が調査票を持って伺いますので、ご協力をお願いします。

なお、調査票に記載された内容は、外部にはもらしませんので安心してご記入ください。

本村の調査員は次のみなさんです。

- 栗本重秋 ○安江吉信 ○安江裕尚

発疹のように点々とできたり、大小まだらに赤くただれたり——赤ちゃんのおむつかぶれは、おむつを取り替えるたびに痛んで、ほんとうにかわいそうです。

排せつ物や粗製の布がすれることによって、おむつをつけた部分にできる皮膚炎をおむつかぶれといいます。

かつては、アンモニア皮膚炎の同義語と考えられていたが、現在ではこれだけでなく、アトピー性皮膚炎やカンジダの増殖による皮膚炎も含めておむつかぶれといっています。

暮らしと健康



おむつかぶれ ⑧⑧ 同じかぶれでもカンジダ（かびの一種）などの感染による皮膚炎の場合には効き目はなく、かえって悪くすることもあります。

原因

排便したままのおむつをしていると、尿中の尿素が大便の中にいる細菌によってアンモニアに分解され、このアンモニアがやわらかい赤ちゃんの膚を刺激してかぶれが生じます。これがアンモニア皮膚炎です。

予防

おむつは、いつも清潔に。洗剤分が残らないよう、洗たくのすすぎは十分に行い、しっかりと乾燥させてから用いるのがコツです。

寒い冬でも一日一回は、おしりの日光浴をして皮膚を鍛えることも考えましょう。

手当て

かぶれてしまったら、脱脂綿にぬるま湯を含ませて患部を軽くきれいにふき、軽い症状ならホウ酸亜鉛華軟こうを塗って、天花粉をたたいておきます。

かなり広範囲に赤くなったものには、ステロイド系の軟こうを一日数回塗ってあげましょう。

この軟こうは効き目は早いのですが、同じかぶれでもカンジダ（かびの一種）などの感染による皮膚炎の場合には効き目はなく、かえって悪くすることもあります。

小・中学生の作品



東白川中1年 安江優子



東白川小6年 安江里佳

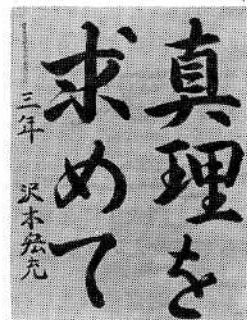
小・中美術展から

11月1～5日 村民センター

東白川小3年 安倍健一郎



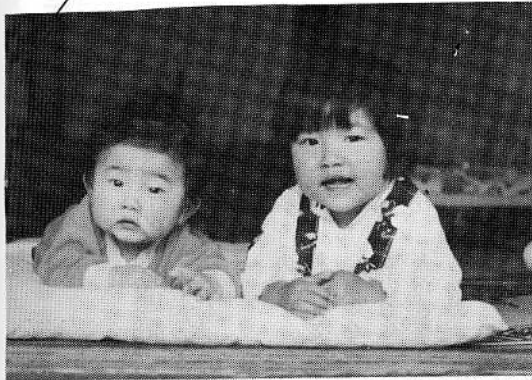
東白川中3年 沢木宏充



東白川村民の誓い

わたしたちは、東白川村民です。先人の遺業に感謝し、誇りをもって明るく住みよい村をつくりまします。

- 一、気持ちのよいあいさつをかわし、あたたかい心のふれあいを大切にします。
一、健康なからだをつくり、明るい家庭を築きます。
一、働くことに喜びをもち、豊かな村づくりに励みます。
一、美しい自然を愛し、うるおいのある村を育てます。
一、教養を高め、かおり高い文化の村づくりに努力します。



柏本 山下雅春・美和子さんの長女、長男

すくすく育て



あなたの作品をお寄せください。
・初心者、とくに若人たちの投稿を歓迎します。
・毎月末までに、神土口良三宛に出してください。

十月の冷雨つづきて群れ飛びし蜻蛉大方姿を見せず

短日をソフトボールに作業着のままにて来れば大き月出ず
田口 巽午

鶏出荷蘭の出荷も終へたれば一ト日休まん雨催ひ今日
安江 香

麦蒔くと畑耕せば蚊蚋さへ出で来ぬ土よお前も貧しき
加藤 公一

炭焼きし山眺むれば大いなる紅葉林ぞ我も年寄る
田口 圭二

夕つきし吊り橋に出れば川虫は茜の空に散透きて飛ぶ
伊藤 重雄

紅葉する谷の流れの清き水汲みて運びつ石碑を洗ふ
今井 統子

晩秋の川汲は冴え寒々と鮎の季節も過ぎし空しき
今井 惣十

ほつれたるシャツの縫ひ目の黒き糸針目を見れば妻なき人か
田口 幸

団楽の灯影こひしき昨日今日雨に暮れゆく秋も深まる
安江 守平

久々に逢ひし肉親は生活のひだとどむれど心あたかし
小池 弘子

やらねばならぬ仕事漸く終りたり日暮れの畑にひとり草抜く
小池いちの

訪ね来し奥美濃はすでに秋深く築場は人の影さへも見せず
安江と志江

願かけてお立待ちせし夜も深く亡母を偲ばす二十三夜様
三戸 きり

久振りに乗りたるバスは駅までを乗り降りもなく我の買ひ切り
古田 光男

政治など何うでも宜くマイカーとマイホームあれば足ると言ふのか
山川 冽

秋天は風強きらし鶯一羽吹きあふられて暫し羽ばたく
田口 良三

○ 正誤 前号加藤さん作中「痛む父は、病が正し

郷土の民俗



—村誌編さん室だより

第一章 経済伝承

第一節 衣・食・住

服装の制限

士・農・工・商の身分制度のきびしかった江戸時代には、農民などの被服の形式は武士とは厳格に区別され、衣類は生地や染色までもきびしく制限されていた。

ことに苗木藩では度重なる財政の窮乏や飢餓への対策として藩令をもってさらに衣食の儉約を奨励し、領内村々へその実践を強く促していた。

例えば、文政九年(一八一二)の「村方へ申渡候儉約ヶ条書」によると……

一、頭布、衣類並びに襦袢(じゆばん)、帯等に至るまで絹・紬・縮緬(ちりめん)の類を除

き、木綿類第一に用いる事。

一、農作場並びに野山に出る時は、立付・股引類は麻品を第一に用い、色は水色浅黄まではよいが紺染の類は決して用いざる事。

一、紙入・煙管(きせる)・たばこ入なども上等の品は堅く無用の事、足袋・甲掛け等も藍染は用いざる事。

一、笠は五拾文以下の菅笠・板笠を用いる事。

一、髪飾りは、絹・縮緬の類は堅く無用の事、銀・鼈甲(べっこう)・象牙・水牛並びに右に紛わしき櫛・こうがい・髪ざし等は決して用いざる事、丈長(たけなが)も紙のほかは用いざる事。

また、天保九年(一八三五)の「村方諸事締方規定書」による

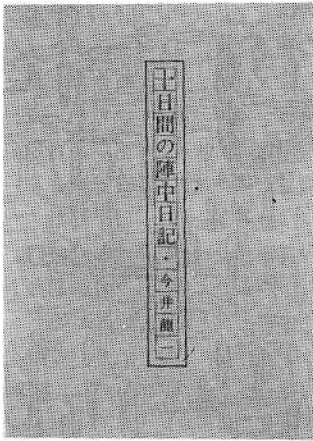
と「小百姓の衣類の儀、木綿・麻布のほか、たとえ婚礼たりとも相用の申間敷候事」と規定されるなど、当事の下級の農民にとつて「布」といえば手織り(自家製)の麻布か木綿が主であつて、高価な絹織物を用いることは許されなかつた。

したがって平常の衣服は極めて質素で、それもそれぞれの分限に応じたものとされていた。

また、染色までも制限があり、手足の装束に用いる股引・立付・手甲脚絆などの色あいは、例えば中百姓以下では水色浅黄か茶頭百姓や村役人などの上級階層では、紺やねずみ色が使われ、ちよつと見ただけでその格式がわかつた。

(おわり)

新刊です — 中央公民館図書室



十日間の陣中日記 今井龍一

「なつかしい山河よ。ああ俺はいまお前に会う日をどんなに祈っているか…。神が万一、私にふるさとに生きて帰ることを許し給うたら……」。作者の故今井龍一さんは、本村の五加大沢の出身です。

昭和12年1月、岐阜歩兵第68連隊に入営、8月連隊の営門を出発、中国に向かいましたが、わずか10日後、ウースンで敵弾に当たり22歳の若さで戦死されました。

この本(日記)は、作者が日本出發から中国で銃弾に倒れる日までの10日間の心境をつづつたもので、愛知県一宮市に住む妹の丸井美代(旧性今井)さんが、戦争を知らない世代にそのむごさを訴えるとともに、兄の供養のために出版されたものです。(啓)

▽今月の料理△

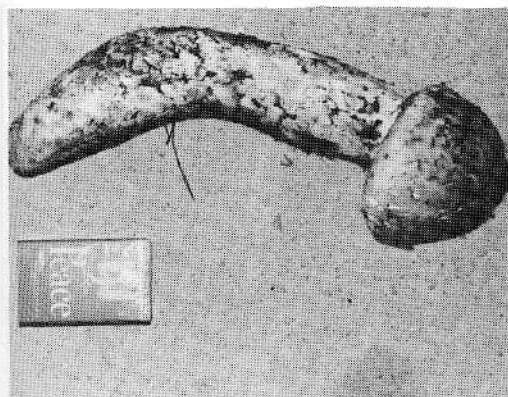


長崎カステラ

『材料』強力粉…230g、卵…5個、卵黄味…一個、砂糖…250g、ハチミツ…大さじ5、サラダ油…大さじ5、牛乳…大さじ4

『作り方』①粉は二度ふるいしておく②ハチミツ、サラダ油、牛乳、砂糖の量は合わせておく③卵白を十分泡立て、砂糖を加え卵黄も加えて混ぜる④②を加えて混ぜ、粉を入れてざっくり合わせる⑤菓子缶などを使い、底にはぬれた新聞紙を巻き、さらにはハトロシ紙をのせて④を流し入れ、200度にオーブンを温めて5分焼き、150度に温度を下げて30分焼く。

※丸型の場合は約25cmの大きさに焼き上がります。デコレーションにして、クリスマスケーキのケーキ作りにぜひお試しください。



ジャンボなマツタケ なんと400グラム

10月中ごろ大きなマツタケが農協へ出荷されました=写真。

下親田の大坪計五さん所有の山林でとれたこのジャンボマツタケは、長さが30センチもあり、茎の直径は約7センチ、重さは400グラムもありました。

ことしは例年に比べマツタケの出荷量は少なく、高値が続いていただけに相当高価なものになったようです。

お吸いものにしたらいっぱい何人分作れるのでしょうか。ともかく、うらやましい限りです。

と び つ く す

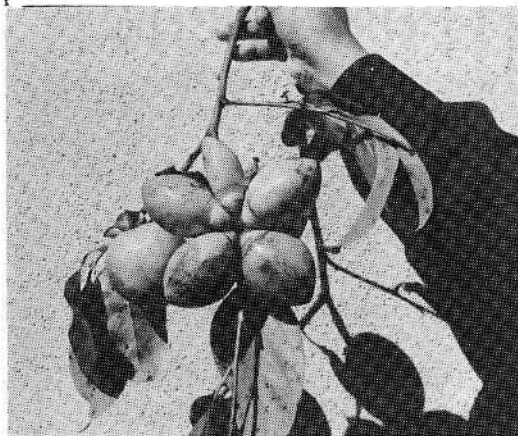
めずらしいものや、地区の話題など係(有線2185番)か、広報モニター(榊間一吉(平)、樋口新祐(西洞)、田口迪夫(大明神)、金尾竹雄(陰地)、栗本重秋(柏本))へお知らせください。

一見ヒトデ風 カキの五つ子ちゃん

ちょっと変わった形のカキが、古田好夫さん宅(久須見)でとれ、広報で紹介をひと係へ届きました=写真。

ごらんのように、一見「ヒトデ」風。1つのヘタに1個の実をつけるのが普通のカキですが、これは何と5つに分かれており、さしずめカキの5つ子とでもいえるのでしょうか。

古田さんは「長い間カキを作ってきたが、こんな風変わりなものは初めて」と、カキの5つ子ちゃんを手に、めずらしそうに語っておられました。



暮らしのカレンダー

※中央婦人教養講座

- ・とき 12月4日 9:00～
- ・ところ 村民センター
- 「年賀状の書き方」を行う予定です

※第17回加茂駅伝大会

- ・とき 12月6日
- 午前10時スタート
- ・ところ 八百津～美濃加茂市(20.4km)

※PTA教育講演会

- ・とき 12月6日
- ・ところ 東白川小学校
- 講師に岐阜盲学校教諭・中沢義雄先生を迎えます

※第6回照晃吟詠会

- ・とき 12月6日 10:00～
- ・ところ 村民センター
- 村文化協会詩吟クラブのメンバーら約100人が、日ごろの練習の成果を発表

※読書講座

- ・とき 12月9日 13:00～
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 講座生

※生活指導委員会

- ・とき 12月9日 15:00～
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 村内各種団体の代表者
- 冬休みの児童・生徒の校外生活指導と青少年の余暇活動指導

※三種混合予防接種(第3回)

- ・とき 12月9日 13:30～
- ・ところ 東白川病院
- ・対象者 52.10.8～54.9.30生まれの未接種者と追加

※村誌解説講座(第7回)

- ・とき 12月10日 13:00～
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 講座生
- 「江戸時代の信仰と生活」を学習する予定です

※小・中学校第2学期終業式

- ・とき 12月26日
- 冬休みに入ります。交通事故や病気に気をつけ、楽しく過ごしてください